

長野県更級農業高等学校 野菜クラブ

高校生ボランティア・アワード2024

「信州伝統野菜「小森ナス」の さらなる普及と発展を目指して！」

私たちの学校がある篠ノ井地区には、小森ナスという伝統野菜があります。小森ナスの特徴は、他のナスとは異なり、丸型で茎や葉やヘタに大きく鋭い棘があります。果肉が厚いため、加熱料理である、おやきや天ぷらに向いています。



最前期には、120軒ほどあった小森ナスの苗栽培農家は現在、1軒となりました。2020年に地域住民より、小森ナスの存続について危機感を感じ、保存継承を目的とした種子採取を「本校で行って欲しい」との依頼があり、この活動がスタートしました。

私たちは、長野県農業農村支援センターと連携し3年間かけて、小森ナスの生産者と購入者を増やし小森茄子の生産維持・向上を図ることを実践しています。

【クラブ紹介】

私たち野菜クラブは、3年生21名、2年生21名活動しています。

農業高校生という魅力を最大限に生かし、地域課題を農業の視点から解決することを目標に日々活動をしています。



「3年計画で小森ナス復活！」

- 1年目(2022年度)・・・小森ナスの魅力を発信し、生産者の増加を促す
小森ナス栽培指標の作成(長野農業農村支援センター指導)
- 2年目(2023年度)・・・小森ナス生産希望者に対し、播種から栽培方法について伝授する
小森ナス取引先の発掘
信州伝統野菜の認定への準備
- 3年目(2024年度)・・・小森ナス取引先の発掘と固定(2年目からアプローチ開始)
新規生産者の確保
信州伝統野菜の認定



【活動の成果】

地元の信濃毎日新聞協力のもと、生産希望者を募りました。多数の応募がありましたが、信州伝統野菜の認定に向けて32名で栽培をスタートしました。1年目の成果は、小森ナスをおやき店舗、直売所での販売開始しました。また、栽培マニュアルの作成も行いました。2年目の成果は、販路の拡大、認知度の向上を行いました。栽培者の拡大としては、栽培者が1人から15人に増えました。3年目の成果では、こだわりある生産者と取り扱い店をつなぐことと、中学生に伝統野菜の小森ナスを知ってもらう啓発活動を行うことと、信州伝統野菜に認定されることを目標に活動を継続します。

「信州伝統野菜認定を目指して」

私達は、3年間かけて生産者と購入者を増やして小森ナスの生産を維持・向上させること、継続的に栽培できる体制を整え「信州伝統野菜」の認定を取得することを目標に活動を始動しました。

これまでに栽培希望者を対象に、種まきや接ぎ木、収穫といったナスの生育に応じた栽培方法を指導する「交流会」を実施してきました。交流会に参加した農家が生産グループ「小森ナス保存会」を設立し、現在は、栽培や販路拡大を図っています。



『認定』のメリット

信州の
伝統野菜

規格？

肥料？

売り先？

苗？

種取り？

①認定マークが使えます！

②情報交換できます！

③販路からの情報が届きます！